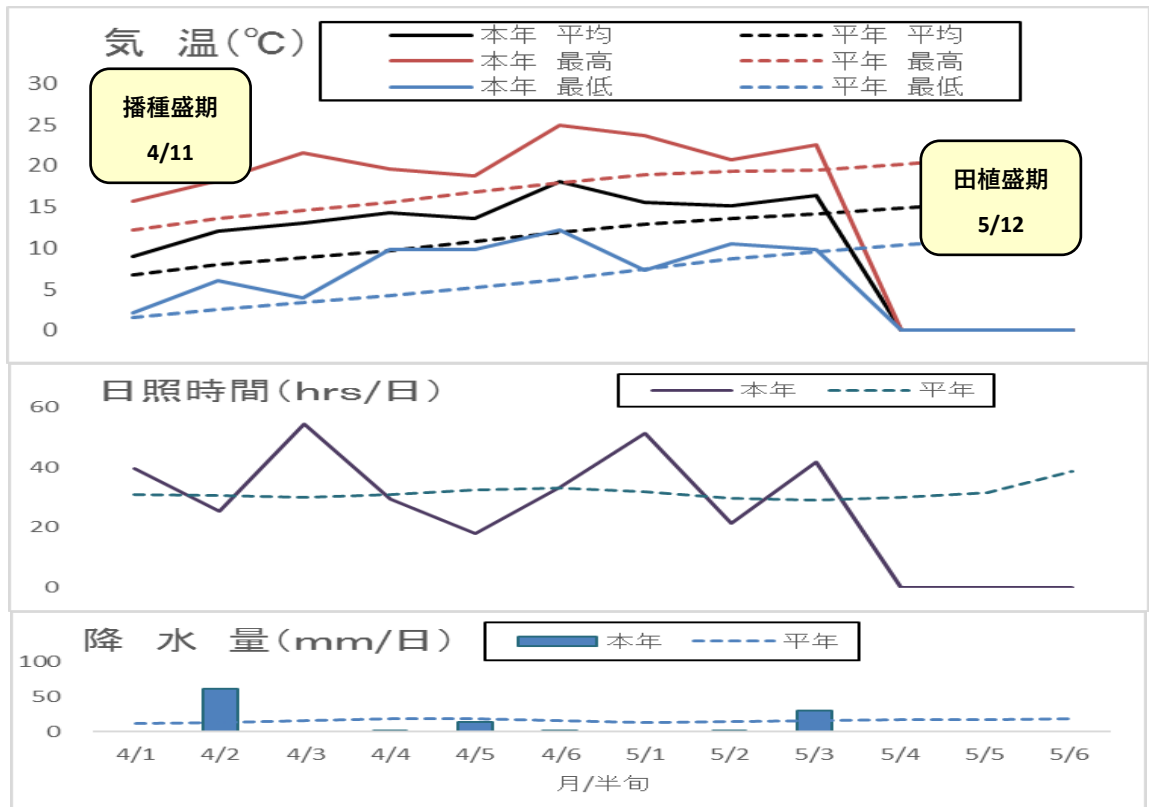


～移植時期はやや早いか？ 乾田直播は出芽揃いまでが勝負！～

1 令和6年の気象（古川アメダス）



◆5月16日発表 東北地方の1か月予報(5月18日～6月17日までの天候見通し)【気象庁ホームページより】

- ・天気は数日の周期で変わるが、平年に比べ晴れの日が多い。期間の前半は、気温がかなり高くなる見込み。
- ・向こう1か月の気温は、高い確率70%、平年並みの確率20%、低い確率10%。
- ・降水量は、多い若しくは平年並みの確率30%、少ない確率40%。
- ・日照時間は、多い若しくは平年並みの確率40%、少ない確率20%。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	東北地方	向こう1か月 05/18～06/17	10 20 70
		1週目 05/18～05/24	10 10 80
		2週目 05/25～05/31	10 20 70
		3～4週目 06/01～06/14	20 30 50
降水量	東北地方	向こう1か月 05/18～06/17	40 30 30
日照時間	東北地方	向こう1か月 05/18～06/17	20 40 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

2 田植状況

(1) 田植期（5月15日現在 宮城県みやぎ米推進課調べ）

- ・田植始期は平年より1日早い5月3日，盛期は平年より1日遅い5月12日であった。
- ・育苗期間の高温の影響で，苗の生育が早く，田植えはやや早めに始まったと考えられる。

田植状況(県全体)

区 分	田植始期 (5%)	田植盛期 (50%)	田植終期 (95%)
本 年	5月3日	5月12日	未
前 年	5月4日	5月12日	5月23日
平 年	5月4日	5月11日	5月22日
平年差	1日早い	1日遅い	－

3 移植後の管理

(1) 水管理

- ・田植え後の苗の活着には気温よりも水温が大きく影響する。
- ・強風や低温の場合は水深5～6cmの深水，晴天や高温の場合は水深2～3cmの浅水で管理し，初期生育を確保する。

(2) 雑草防除

- ・除草剤散布後7日間は落水や畦畔からの漏水を防ぎ，かけ流しかんがいは行わない。

4 乾田直播栽培における今後の管理

(1) 出芽が揃わないときは・・・

- ・本年は，播種後の降水量が少なく，また，前年の高温によって種子の休眠が深く，出芽が揃いにくくなっている。その場合は，ほ場全体に薄く水が行き渡るまで（潤土管理）入水を続け（フラッシング），種子に十分な水分を供給することが重要である。



【4/20 播種 ひとめぼれ フラッシング無し 葉数 1.5L】



【4/20 播種 ひとめぼれ フラッシング有り 葉数 2.0L】

◆フラッシングの有無によって，出芽揃い及び初期生育に大きな差が生じる（写真参照）。



【フラッシングによって 種子の給水が早く 出芽は揃いやすくなる】

- ・ 潤土管理の期間は3～7日程度で、出芽が揃ったら潤土管理は終了とする。
- ・ 「ひとめぼれ」など、穂発芽性が「難」の品種は、ササニシキと違って休眠が深く、出芽に時間を要するので、注意が必要である。

(2) 雑草防除

- ・ 出芽が揃った後、雑草の発生が多い場合は、入水前に選択性茎葉処理剤を散布する。発生した雑草がノビエのみの場合は「クリンチャーEW」、ノビエ以外に広葉雑草も含まれる場合は「クリンチャーバス ME 液剤」や「ノミニー液剤」を使用する。
- ・ 入水時期（湛水管理を始める時）の目安となる稲の葉齢は、1.5葉期頃である。最初は苗が短く、全部水没すると枯死するので、浅水管理とする。
- ・ 苗の生育が揃い、ほ場からの漏水がないことを確認したら、5cm程度の水深を確保したうえで「初中期剤」を散布する。散布後の管理は、移植栽培と同様とする。



【4/2 播種 つきあかり フラッシング有り 葉数 2.0L】



【4/2 播種 ササニシキ フラッシング有り 葉数 3.0L】